

## 研究説明文書

### 電波に対するリスク認知に関する疫学研究(日本 一般公衆パネル調査)

#### 本研究の概要

##### 1. 研究の許可

- ・ 本研究「日本の電波に対するリスク認知に関する疫学研究」は 静岡社会健康医学大学院大学の研究倫理審査委員会の審査・承認(SGUPH\_2024\_005)を受け、静岡社会医学大学院大学(Shizuoka Graduate University of Public Health) 学長 宮地良樹の許可を受けて実施しています。

##### 2. 研究機関と研究責任者

- ・ 研究責任者 静岡社会健康医学大学院大学(Shizuoka Graduate University of Public Health)  
教授 小島原典子

##### 3. 研究の目的・意義

- ・ 近年、新しい電波である 5G の活用が広まっており、健康への影響を心配する声もあります。本研究は、日本人の電波に関しての考えを知るための調査です。
- ・ 本研究の成果は、日本のみならず、国際的な電波のリスクコミュニケーションに対して科学的なエビデンスを提供することが期待されます。

##### 4. 研究の方法

###### 4-1 データ収集の目的と取り扱い

- ・ 2026 年 2 月に調査会社を通じてインターネット上で 1 回 30 分程度の質問調査を行います。
- ・ 利用目的:回答いただいたデータは個人情報情報を削除した電子ファイルで調査会社より本学に納品され、令和 7 年度以降公開予定の電波のリスクコミュニケーションの基礎資料として活用します。この後、2028 年にフォロー調査を行います。

###### 4-2 研究実施期間

- ・ 研究実施期間は学長による研究実施許可日以降から 5 年です。

##### 5. 研究対象者として選定された理由

- ・ 対象者に選定された理由:原則として 2025 年 2 月に実施されたパネル調査の回答者を対象としています。日本の人口比率に影響が出る場合は、日本 9 地方区分から 18 歳以上の男女を平準化するような構成になるように新規対象者を調査会社が選定します。
- ・ 研究説明書を読んで研究にご同意いただける方は、「次に」をクリックして調査にお進みください。

##### 6. 研究対象者の負担並びに予測されるリスクおよび利益

- ・ 調査にご回答いただく時間をいただきますが、ほかに特にリスクや負担は生じません。
- ・ ご自宅などインターネット環境のある自由な場所でご回答いただき、通信費はご自身でご負担いただきます。
- ・ パネル調査会社からポイント(数十円程度)が付与されることがありますが、本学から謝金は支払われません。
- ・ 電波に興味がない方にとっては、5Gや電波の知識を尋ねられることは不快に感じられるかもしれません。一般の方々が「何を知らないのか」が調査の目的の一つですので、わかる範囲について安心してご協力ください。

##### 7. 研究協力の撤回について

###### 7-1 同意の撤回

- ・ 本調査終了後は同意の撤回ができません。質問の途中で参加を中止することは可能ですので、最終回答送信前に十分にご検討をお願いいたします。

###### 7-2 データ活用後の撤回ができない理由

- ・ 本調査は、無記名の状態で調査会社から納品されるため最終回答送信後の撤回が不可能なため。

8. 研究協力の任意性

- ・ 研究協力はあなたの意思でお決めください。協力を拒否しても、不利益は一切生じません。

9. 情報公開

- ・ 詳細については、「電波ばく露レベルモニタリングデータの取得・蓄積・活用」HP ([https://nk-lab.jp/risk\\_communication](https://nk-lab.jp/risk_communication))で確認できます。

10. 資料の閲覧

- ・ 研究計画書及び研究の方法に関する資料は、「電波ばく露レベルモニタリングデータの取得・蓄積・活用」HP ([https://nk-lab.jp/risk\\_communication](https://nk-lab.jp/risk_communication))より、いつでも入手又は閲覧できます。

11. 個人情報等の取扱い

- ・ あなたの氏名は研究用 ID に置き換え、個人情報を削除して解析用データのみを保存します。

12. データの保管および廃棄の方法

- ・ あなたのデータは、個人情報を削除した上で、研究責任者が厳重に保管します。
- ・ 研究発表後 10 年経過した時点で、その時点で最も安全と思われる方法でデータはすべて廃棄します。

13. 研究資金と利益相反

13-1 研究資金の種類および提供者

- ・ 研究資金：電波ばく露レベルモニタリングデータの取得・蓄積・活用
- ・ 提供者：総務省

13-2 利益相反

- ・ 研究者は報告すべき利益相反はありません。
- ・ 利益相反は、静岡社会健康医学大学院大学(Shizuoka Graduate University of Public Health)の利益相反マネジメントポリシー、利益相反マネジメント規程に従い利益相反委員会で審査しています。

14. 研究により得られた結果等の取扱い

- ・ 研究成果は、学会や学術雑誌に発表する予定ですが、ご参加の皆様の個人が特定される内容は一切含みません。

15. 研究対象者等及びその関係者からの相談等への対応

- ・ 何か質問がございましたら、以下にご連絡ください。

研究事務局 静岡社会健康医学大学院大学(Shizuoka Graduate University of Public Health)

疫学事務局(責任者：小島原典子)

〒420-0881 静岡市葵区北安東 4 丁目 27 番 2 号

研究 HP:[https://nk-lab.jp/risk\\_communication/](https://nk-lab.jp/risk_communication/)

右の QR コードから研究 HP に移動して問い合わせもできます。



16. 研究結果の二次利用と公表

- ・ あなたのデータは、2026 年度夏以降に新規に計画される研究に二次利用される可能性があります。その際には、研究 HP にて周知いたします。

17. 研究対象者等に対する経済的負担又は謝礼の有無とその内容

- ・ 通信費等が発生する場合は、参加者の負担となります。パネル調査会社からポイントが付与されることがありますが、本学からの謝礼はありません。